

(様式)

愛知県子ども会活動事例応募用紙

市町村名	刈谷市	子ども会名	<input checked="" type="checkbox"/> 単子 <input type="checkbox"/> 校区 (☑点を記入してください) 松栄3・4・馬池組 子ども会	
事業名	春のお楽しみ会 (ドッジボール大会・氷鬼・竹とんぼ)			
活動項目	<input type="checkbox"/> 地域との交流 <input type="checkbox"/> スポーツ活動 <input type="checkbox"/> 仲間づくり・技術習得 <input checked="" type="checkbox"/> 遊び体験 <input type="checkbox"/> 自然体験 <input type="checkbox"/> 異年齢交流 (主な該当項目1つに☑点を記入してください)			
活動の内容 ・事業の目的 ・プログラムの内容	従来は役員が年間活動内容を考えて行ってきたが、今年度は4月の新入生歓迎会で子ども達の主体性を育むため1年の行事で何をやりたいかを考えてもらい、5月のお楽しみ会ではドッジボールと氷鬼と竹とんぼ教室を行った。			
日時	2024年 5月 12日 (日) 時間 8時30分 ~10時00分	場所	沖野公園	
予算	0 円	参加人数	子ども 16名 大人 0名 スタッフ役員 3名	
実施してよかったこと、楽しいと感じたこと、また、困った点等をどのように工夫したか等	<ul style="list-style-type: none">・役員が先にルールを提案し、子ども達にもルールやハンデについて考えてもらい変更しながら進めることで、全学年、性別関係なく盛り上がり楽しめた。・ドッジボールでは、5.6年チーム対1~4年チームに分け、5.6年生は利き手と反対の手で投げるハンデをつけた。(1試合10分とし後半3分は利き手を解放)・氷鬼では、鬼に捕まっても解放してもらう為に声を出してアピールしたり、鬼もチームプレーで捕まえたりと学年関係なく盛り上がった。・竹とんぼで遊んだことがない子が多く、個別にもレクチャーしながら行った。			
子どもたちの成長ぶりや心の変化(感想)等	<ul style="list-style-type: none">・はじめる前は、子ども同士で距離感がありましたが、ドッジボールをはじると徐々に距離感もなくなり盛り上がっていた。・1人1人が遊びを通じて仲間作りをし、チームで戦略を考えたりボールを取っても低学年へ渡して投げさせてあげたりと思いやりも感じられた。・レクレーション終了後も多くの子が残り、ドッジボールを楽しんでいた。			
HP掲載承諾 <input checked="" type="checkbox"/> 済 (㍷点の記載必須)	HP掲載承諾 <input checked="" type="checkbox"/> 済 (㍷点の記載必須)			
				